

# 【ねがいましては】

平成23年5月25日

KYOWA SCHOOL

第247号

「助け合う家族」

母と子の間に流れる信頼、そのどちらかの信号がほんのわずかでも傷んでしまうと、100%と言ってもいいくらいに信頼はなくなってしまう。

たとえば、よくあるケース。子が学校からの宿題をなかなかやろうとしないとき、母はひょっとしてこの子やらないのではと不安を感じたとき、信頼は100%消え去っています。代わりに出てくるのは怒り。

子が自分でしっかり計画をつくり、さてやろうかなと思ったその瞬間、母からの「いつになったらやるの・・・」子の中に生まれ出る怒り。やはりこの時点で両者の間に信頼はみじんもありません。

それぞれがそれぞれの役割を分担しながら生活している今の社会システム。会社がそうです。学校もそうなのかもしれません。〇〇係りなどとクラスの中で各自に仕事が分担されます。教室の中では黒板が汚れていれば、黒板係りが拭きます。それ以外の子どもたちは全くの無関心・・・。係りがいるのだからその子がやるべきだ・・・ほとんどの子がそう思っているのではないのでしょうか。それがあたりまえ。助け合う心を育むことは難しい状況です。

人々の暮らしの歴史には、助け合うことが当たり前だったはずですが、でなければ生きていけない。農業でも漁業でも、人々の生活の中には仲間意識がしっかりとあったはずですが、だからやたらと「〇〇さん、これ作ったから食べていただけませんか・・・。」などと結構仲が良かったり。田植えの季節を迎えれば、総出で苗を植えあったり・・・。

今は、子は勉強、父は仕事、母も仕事の方が多く、それぞれが日中どのような生活を送っているかなど詳しくは知らないのが現状でしょう。だから家族であっても、いくら血がつながっていても、結構他人のような関係が出来上がっているような気がします。

一緒にいる時間が少なくなってきた今、信頼はなかなか作られにくい状況にあると思います。

私は信頼を構築するために必要なものとして、次の二つを用意したいと思います。一つ目が助け合うこと。子は親の肩を叩いてあげるだけでも信頼はどんどん作られます。洗い物も積極的にします。究極はトイレ掃除です。これが結構はまります。きれいなことはもちろんですが、匂いにまでこだわります。どうやったら取れるのか、どうやったらゆっくりとくつろげる匂いになるか。もちろん見返りなどはないのが当たり前。

お母さんやお父さんは、子が宿題をやっていると、同じように隣で真剣に本を読んでいたり、さらにわからない言葉や漢字が出てくると、すかさず辞書をとる。

二つ目が一緒にいる時間。家族間で助け合うための時間をできるだけ多くとることです。だから休日はとても大切な時間になります。とかく休日はどこかへ出かけたり、ごろごろ寝ていたり、それぞれが自分勝手なことをやっていたりでは、何の意味もありません。お互いが助け合うための時間なのだと言わなければなりません。それが当たり前なのだ・・・。

子は親に数多くの要求を突き付けてきます。買ってくれるのが当たり前、連れていってくれるのが当たり前、食事は作ってくれるのが当たり前、服を洗ってくれるのが当たり前、朝、起こしてくれるのが当たり前・・・。

同様に親も数多くの要求を突き付けてきます。宿題はやるのが当たり前、テストでそれなりの点を取るのが当たり前、塾へ行かせるのが当たり前、それなりの成績が取れるのが当たり前・・・。そのどれもが助け合うこととは無縁です。

生活の原点を、生きることの原点を、今一度見つめなおすことが大切なのではないのでしょうか。

私はこの教室での子どもたちとの間に助け合うことの大切さを時折語ります。勉強は助け合うものです。競争ではありません。順位は学校側が勝手に持っていること。競争心をあおることでやる気を起こさせようとしているのです。なぜなら会社がそのシステムを多くとっているからです。

私は勉強と家族が結びついた生活を理想と考えます。家族のあたたかさを感じながら向かう勉強、それが本物の勉強。ここでの光景の数々、見学などお客様がみえると、誰ともなくお茶を入れてくれます。誰ともなく下じきを机に並べてくれます。授業が終わるとカーテンを閉めてくれます。帰り、玄関にくつを下駄箱から出して置いてくれます。ネコにカンヅメ餌をあげてくれます。雑草をとってくれます。窓を拭いてくれます。食器を洗ってくれます。冷蔵庫の中を整頓してくれます。花を植えてくれます。

さすがにトイレ掃除はしませんが・・・。

でもそんな子どもたちの通うこの教室での勉強風景は、シーンと張りつめています。それぞれが精いっぱいに向かっています。その状態へ向かいつつある子どももいますが・・・。

家族のあり方、その中心部分がしっかりとしていれば、子は自ら力強く歩こうとします。家族の間に強く宿る信頼、それがしあわせの土台。

必要なもの・・・家族の時間です。助け合うための時間です。家族が一つになるための時間です。

お願いがあります。家族団らん、皆が一つ屋根の下で助け合う生活をなさってください。ご両親が土曜日、日曜日、祭日お休みなら、部活動、休んだっていいのではないのでしょうか。学校は家族の大切な絆を奪い取るようなことはしないはずですよ。温かい家族、バンザイ！